

みんなで賃上げ。ステージを変えよう！

2024 春季生活闘争ニュース

2024.6.5 - 第 27 号 - 連合北海道 春季生活闘争本部

2024 春季生活闘争 第 6 回回答集計結果について

連合本部は、2024 春季生活闘争につき、6 月 3 日（月）10 時の時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 月例賃金改善(定昇維持含む)を要求した5,510組合中5,038組合が妥結済み(91.4%)。うち賃金改善分獲得が明らかな組合は2,873組合・57.0%で、組合数は比較可能な2013闘争以降で最も多い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した4,938組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で15,236円・5.08%（昨年同時期比4,429円増・1.42ポイント増）、うち300人未満の中小組合3,516組合は11,361円・4.45%（同3,033円増・1.09ポイント増）となった。5月末時点の結果としてはいずれも、比較可能な2013闘争以降で最も高い。賃上げ分が明確に分かる3,423組合の「賃上げ分」は10,648円・3.54%、うち中小組合2,178組合は8,291円・3.16%となり、5月末時点で3%を上回ったのは、賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降初めてである。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給62.70円(同9.92円増)・月給10,851円(同3,869円増)である。引上げ率は概算でそれぞれ5.74%・4.97%となり、引き続き時給は一般組合員(平均賃金方式)を上回っている。また、時給・月給ともに、比較可能な2015闘争以降の最終集計結果として最も高かった2023闘争(5.01%、3.18%)を上回っている。
- すべての労働者の立場にたった「働き方」の改善やジェンダー平等・多様性の推進に向けても引き続き数多くの取り組みがなされている。加えて、4月末時点でとりまとめた「具体的な取り組み内容」をあわせて公表する。

連合北海道は、6 月 3 日（月）10 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 連合北海道にエントリーのあった 194 組合中 175 組合が妥結した(90.2%)。うち、集計可能な回答を引き出した組合は 165 組合(昨年同時期比 11 組合増)、55,607 人(同 11,777 人増)であった。
- 月例賃金の加重平均は、12,978 円・4.63%(同 4,088 円・1.25 ポイント増)の引き上げとなり、同様の集計を始めた 2016 闘争以降で最も高い数値となっている。
- 集計可能な回答を引き出した 165 組合のうちベースアップ分が明確にわかる 123 組合のベースアップの加重平均は、9,034 円・2.97%(同 3,892 円・1.11 ポイント増)となった。
- 一時金は、加重平均における 24 組合の年間金額は 1,476,650 円(同 65,109 円増)、年間月数は 39 組合で 4.76 カ月となった。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給 56.84 円(同 12.5 円増)・5.47%、月給 9,179.80 円(同 2,289.30 円増)・4.86%の引き上げとなった。

【組合規模別賃上げ状況 2024 年 6 月 3 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99 人	81	3,978 人	9,040 円(3.82%)	6,893 円(3.13%)	2,147 円(0.69%)
100～299 人	47	8,203 人	12,285 円(4.95%)	8,179 円(3.55%)	4,106 円(1.40%)
300 人未満計	128	12,181 人	11,129 円(4.54%)	7,790 円(3.42%)	3,339 円(1.12%)
300～999 人	26	13,015 人	13,181 円(5.01%)	10,018 円(3.69%)	3,163 円(1.32%)
1,000 人～	11	30,411 人	13,526 円(4.47%)	8,867 円(3.20%)	4,659 円(1.27%)
300 人以上計	37	43,426 人	13,430 円(4.66%)	9,271 円(3.36%)	4,159 円(1.30%)
計	165	55,607 人	12,978 円(4.63%)	8,890 円(3.38%)	4,088 円(1.25%)